



- テーマ 未来型教育課程と世界市民教育: 挑戦と課題 (Future-oriented National Curriculum and GCED: Challenges and Tasks)
- 場所 リアルタイム オンライン+オフライン(ユネスコアジア太平洋国際理解教育院)
- 時間 2021年 11月 13日 (土) 午後1時~6時

時間	手順と内容		
13:00~13:50	[開会の辞] パク・スンヨン(韓国国際理解教育学会会長) [祝辞 1] イム・ヒョンムク(UNESCO-APCEIU院長) [祝辞 2] 森茂岳雄(日本国際理解教育学会会長) [基調講演] ソン・ギソン(カトリック大学教授) [司会] チョ・デフン(韓国国際理解教育学会副会長)		
13:50~14:00	休憩及び移動		
14:00~15:15	[パネル 1] 自由テーマ 討論/司会: パク・ファンボ(忠南大学校教授)	[パネル 3] 予備教師としての世界市民教育 討論/司会: イ・ギョンハン(全州教育大学校教授)	[パネル 4] 「異己」プロジェクト 討論/司会: キム・ソンミ(中央大学校教授)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東アジア成人の世界市民意識関連要因分析: 社会資本、脅威認識、情報受容媒体を中心に 発表: チョン・ソンギョン, イ・ユラ, パク・ファンボ(忠南大学校) ○ 脱植民地主義の視点で問答する: アフリカ世界市民教育の動向とビジョン 発表: チェ・ユンジョン, キム・イェジ(梨花女子大学校) ○ 多文化家庭対象国との交流事業: 参加教師たちの経験に関する質的研究 発表: コ・ソクヨン(延世大学校) ○ 教科授業の中の世界市民教育事例: 高等学校の地理教科を中心に 発表: ファン・テソン(祥明高等学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミャンマーの自然環境と人文環境に対する理解 発表: ムン・ジュウン, シン・ヨンギョク, ユン・ヒジン(全州教育大学校) ○ ミャンマーと国際列強の関係についての探索 発表: キム・ソヨン, イ・ジェヒ, キム・ミンギ(全州教育大学校) ○ 予備教師のミャンマー認識とその提高方法 発表: イ・チョル, カン・ユンミン, キム・ジフ(全州教育大学校) ○ ミャンマー民主化運動との連帯案 発表: パク・ソヒョン, パク・キテ, ベク・スンヒョン(全州教育大学校) ○ ミャンマー民主化運動の歴史 発表: キム・ヘス(全州教育大学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「異己」プロジェクトの現在・過去・未来 発表: 釜田聡(上越教育大学) ○ 「異己」プロジェクト2021年宁波市実施事例 発表: カン・ユンミン(中国北京師範大学校) ○ 「異己」プロジェクト楽民初等学校 実践事例 発表: チャン・ミョンオク(楽民初等学校) ○ 自由討論
15:20~16:35	[パネル 2] 自由テーマ 討論/司会: チャ・ボウン(延世大学校教育研究所)		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓-日 超国籍 授業協力 事例: 世界市民と領土教育の課題 発表: チャ・ボウン(延世大学校教育研究所) ○ An Inquiry of Cultural Experience in South Korea through the Studying Experience of Ghanaian Graduate Students 発表: Chen Yi Yin(忠南大学校) ○ 慶尚道地域の歴史的な傷とグローバル平和教育の可能性: 韓国人原爆被害者問題と慶山コバルト鉱山事件を中心に 発表: チェ・ボムスン(嶺南大学校) ○ UNESCO国際理解教育に関する教育社会科学的考察: 柄谷行人の「交換様式論」を中心に 発表: キム・サンヒョク(延世大学校) 		
16:35~16:40	休憩及び移動		
16:40~17:50	[発表] 未来型教育課程と世界市民意識 ナイム・ユンギョン(延世大学校教授) イ・ヤンスク(UNESCO-APCEIU室長) 石森広美(宮城県仙台二華中学校・高等学校, 東北学院大学・宮城教育大学) [討論/司会] チョ・デフン(韓国国際理解教育学会副会長)		
17:50~	[閉会の辞] パク・スンヨン(韓国国際理解教育学会会長)		